

特集

『高齢者に対する福祉を考えるアンケート』 の結果について



2016. 7. 15 第162号
 発行者 荻川コミ協
 発行人 朝比奈 富夫
 電話 (24) 5776

荻川コミ協では、昨年11月、荻川地域における高齢者の福祉に関する今後の取り組み及びコミ協の運営の検討に資するため、自治会・町内会等のご協力の下に、アンケートによる高齢者の福祉等に関する意向調査を行いました。その結果概要を報告します。

アンケートは、荻川地区全世帯(6,035世帯)を対象に行い、回答2,801世帯、回答率46.4パーセントでした。また、各設問に関連する記述による意見要望等は1,254件ありました。

アンケート結果については、自治会長・町内会長、民生児童委員はじめ関係方面のご協力をいただきながら、荻川地区における高齢者の福祉対策及びコミ協運営に活用していく方針です。
 (荻川地区社会福祉協議会)

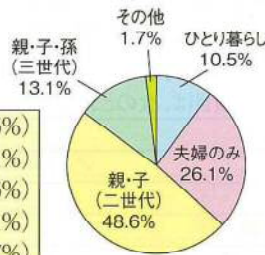
【アンケート結果】

荻川の人口	世帯数	6,527戸
	人口	18,142人 (前年同日比-14人)
	男性	8,813人
	女性	9,329人 (2016年6月末日現在)

◎お住まい、家族状況

○世帯構成

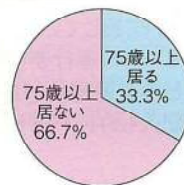
ひとり暮らし	284世帯 (10.5%)
夫婦のみ	710世帯 (26.1%)
親・子(二世帯)	1,319世帯 (48.6%)
親・子・孫(三世帯)	355世帯 (13.1%)
その他	47世帯 (1.7%)



(注) ()内は、白紙回答、世帯構成不明を除く2,715世帯に対する構成比

○75歳以上の高齢者の有無

家族に75歳以上の高齢者が居る	917世帯 (33.3%) (うちひとり暮らし 120世帯)
居ない	1,834世帯 (66.7%)

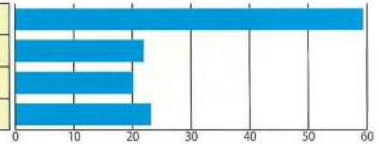


I 75歳以上の高齢者に対する質問

(注) 数字は、高齢者が居る917世帯に対する比率。ただし、ひとり暮らしの高齢者については120世帯に対する比率

1 生きがいや健康のために何かやっていますか。(複数記入可)

運動	59.3%
芸能等	21.9%
芸術等	20.1%
その他	23.1%

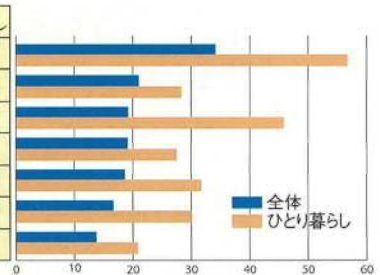


2 日常生活の中で、不安や心配ごとがありますか。(複数記入可)

16の質問項目中記入の多い7項目は、次のとおり。

なお、ひとり暮らしの高齢者の記入率は、ほとんどの項目で全体の記入率を上回っており、ひとり暮らしの高齢者は不安や心配ごとをより多く抱えていることがうかがえる。

	全体	ひとり暮らし
急な病で倒れたりしたら不安	34.1%	56.7%
災害時の避難ができるか不安	21.0%	28.3%
急な病で救急車を呼べるか不安	19.2%	45.8%
町内や地域行事に参加が困難	19.1%	27.5%
除雪ができない	18.6%	31.7%
電球取替、家具の移動がづらい	16.6%	30.0%
災害時に助けて頂けるか不安	13.7%	20.8%



☆ その他の不安、心配ごとを記入してください。

43件の記入があったが、ゴミ出し、下水清掃、除雪が困難、組長等の輪番制が苦痛、ひとりで居る時が不安などの記入が多かった。

3 あなたの交通手段についてお尋ねします。(複数記入可)

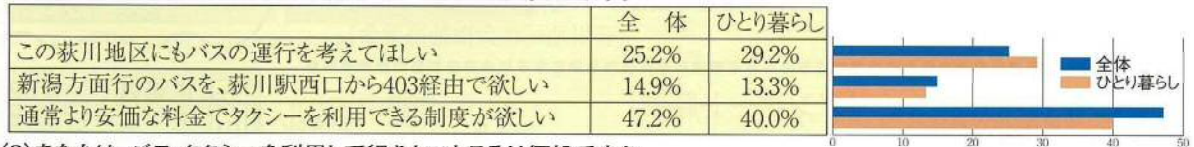
(1) あなたの日ごろの交通手段についてお聞きします。

11の質問中記入の多い5項目は、次のとおり。

なお、ひとり暮らしの高齢者は、全体の高齢者に比較して、外出時のマイカー運転、家族の送迎が少なく、タクシー・電車・バスの利用及び徒歩が多いなど、日ごろの交通手段に不自由していることがうかがえる。



(2) 高齢者の交通について、日ごろ感じていることをお尋ねします。



(3) あなたは、バス・タクシーを利用して行きたいところはどこですか。

9つの質問項目中記入の多い5項目は、次のとおり。



☆ その他、荻川地区の交通について感じていることをご記入ください。

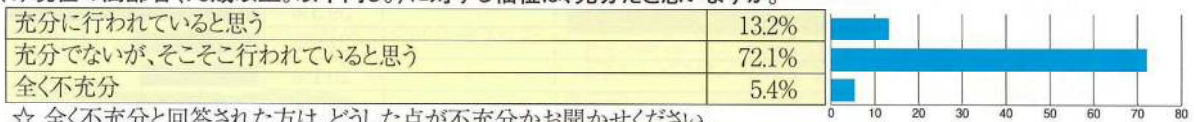
150件の記入があったが、区バスの運行要望、現行のバスルートの変更等バス交通に関する記入が約4割と最も多く、他に交通マナーや道路状況などの交通環境、JR・タクシーなどのバス以外の交通機関に関する記入が比較的多かったが、特に不便を感じていないとの記入も約15パーセントあった。

II 全世界帯に対する質問

(注) 数字は、白紙提出を除く2,751世帯に対する比率

1 地域で行う福祉についてお尋ねします。(択一記入。ただし、無記入、複数記入もあるため、合計は100%にならない。)

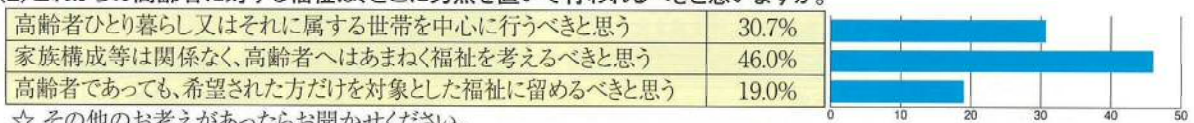
(1) 現在の高齢者(75歳以上。以下同じ。)に対する福祉は、充分だと思いますか。



☆ 全く不十分と回答された方は、どうした点が不十分かお聞かせください。

156件の記入があったが、福祉の制度内容が分からないという記入が約半数を占め、次いで介護施設の不足など福祉制度への不満が多かった。

(2) これからの高齢者に対する福祉は、どこに力点を置いて行われるべきだと思いますか。

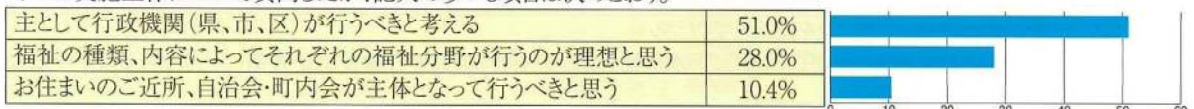


☆ その他のお考えがあったらお聞かせください。

78件の記入があったが、福祉の制度・内容の充実、福祉の平等、地域の支えあい、福祉施設の充実、高齢者の活用など様々であった。

(3) 高齢者の福祉は、主にどこが行うべきと考えますか。

7つの実施主体について質問したが、記入の多い3項目は次のとおり。



(4) 今後こんな福祉を行って欲しいと思う福祉事業があったらお聞かせください。

260件の記入があったが、福祉施設の増設・充実、福祉の制度に関する要望、地域の支えあい、生活支援、サロン等の設置、交通機関の充実等に関する様々な意見が寄せられたが、今後の地域における福祉を考える上で貴重な意見も多かった。一方国等に対応すべき内容の意見もかなりあった。

2 災害対策についてお尋ねします。

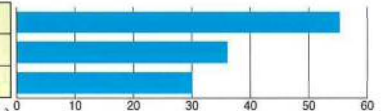
(1) この地に住んで今一番怖い災害は何ですか。

地震	水害	風台風	竜巻等突風	異常気象	火災
32.9%	24.9%	2.2%	3.5%	3.4%	19.9%

(2) 災害の発生等を想定し、お尋ねします。(複数記入可)

8つの質問項目中記入の多い3項目は、次のとおり。

この「荻川地区」が水害に弱い地域であることを知っている	55.3%
災害が発生又は危険がある時、避難をするかしないか判断できず不安	36.1%
自分の町内に自主防災組織があることを知っている	30.1%

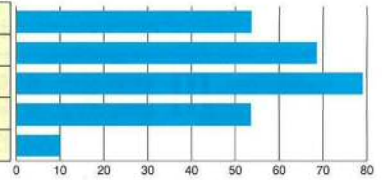


☆ その他、災害に関して、不安や心配や日ごろ感じていることがあったら記入してください。

253件の記入があったが、避難場所に関する不安、災害(特に水害)発生に対する不安、避難する途中の不安、災害発生時の家族の心配に関するものが多く、その他情報伝達に関するもの、避難訓練の実施要望、自主防災組織の設置要望、高齢者の避難等に関する記入であった。

3 日ごろの地域情報の入手方法についてお尋ねします。(複数記入可)

新聞の地方版を見ている	53.7%
市報にいがたを見ている	68.6%
町内の回覧を見ている	79.1%
コミ協の「広報おぎかわ」を見ている	53.6%
町内の掲示板を見るようにしている	10.0%



☆ その他、地域情報の入手方法について、感じていることがあればご記入ください。

72件の記入があったが、インターネットから入手しているという記入が最も多かった。また、件数は少ないものの回覧板、「広報おぎかわ」に関する意見・要望もあった。

4 荻川コミ協の運営についてお尋ねします。(複数記入可)

(1) 荻川コミ協の存在及び現事業について。

地域でコミュニティ活動は必要なことだと思う	61.6%
荻川コミ協の存在を知らない	4.5%
荻川コミ協で行っている事業(運動会など)などを知っている	79.6%
荻川コミ協で行っている事業に参加したことがある	34.0%
荻川コミュニティセンターを利用したことがある	35.6%
同センターを利用したことがない	28.4%

(2) 荻川コミ協に期待する事業について

もっと娯楽的事業を増やして欲しい	16.8%
もっと福祉的事業を増やして欲しい	20.2%
もっと教育的事業を増やして欲しい	12.9%
優良ボランティア制度があれば利用したい	6.5%
地域活動に参加する意思がある	12.3%



☆ その他、コミ協事業活動について、日ごろ感じていることを記入してください。

242件の記入があったが、交流の場づくり、子供を対象とした事業の充実、サークル活動の活発化、図書館の充実、防災対策の強化、現事業の見直し、新しい人が参加しやすい雰囲気づくり、コミセンへの交通の確保、コミセンへの投票所の復活などの行政への要望など幅広い意見・要望が寄せられた。

また、現事業に関してコミ協を評価する記入がかなり多かった。一方、わずかであるが期待しないなどの批判的記入もあった。

百歳バンガイ!

おめでとうございます。



中野三丁目の中澤フミさんが6月13日に誕生日を迎え100歳となりました。

6月8日に朝比奈荻川コミ協会長、五十嵐町内会長が自宅を訪問してきました。

中澤さん夫妻は70歳位まで露店を商い、いつも笑顔でおおらかだったそうです。

食べ物も好き嫌いなく美味しい美味しいと言って、ご自身で介助なしで食べているとのことでした。

フミさんどうぞいつまでもお元気でお過ごしください。(事務局)

川口防災訓練

川口防災会

5月22日朝に、大きな地震が発生したことを想定して、170名ほどの参加者にて防災訓練を実施致しました。

隣組単位で一時避難場所の集合から川口交流会館への「避難誘導訓練」を行い、その後、秋葉消防署(川口消防団)の指導のもとで、「煙体験」「初期消火訓練」「担架作り訓練」「心肺蘇生訓練」「地震体験車」を体験し、さらには、非常用食料であるアルファ米の「炊き出し訓練」を行い、出来上がりバックを持ち帰り頂き防災訓練が終了致しました。

『地震体験車』では、震度6以上の地震恐怖を再認識されたようです。



第28回 荻川芸能祭 が開催されました

6月5日(日)荻川コミセン体育館

芸能祭開催にあたり

6月5日(日)荻川地区芸能祭を大勢の皆様から参加いただき、楽しく開催することができました。

日ごろ研鑽を重ねた民謡、ダンス、舞踊などの踊りから迫力ある三味線演奏、楽しい手品など幅広い28演目が披露され大きな喝采を頂戴いたしました。

また地元小学生キッズダンス、空手演武の元気な姿に会場は笑顔と感動に包まれ、今年は熟練の詩吟も披露され聴衆を魅了いたしました。

この芸能祭には、コミ協として姉妹提携している早通コミ協の皆様からも毎年舞踊をご披露いただき絆を深める機会となっています。

これからも荻川コミ協5大イベントのトップバッターとして開催される芸能祭を更に充実し、皆様から楽しみにされる行事となるよう努力してまいります。そして大勢の皆様のご来場をお待ちしております。

(文化教養部長)



日ごろの練習の成果の見せ所!!



編集後記

また暑い夏がやってきます。最近では熱中症が、「夏の風物詩」になっていきます。熱中症は、運動や暑熱から起こる体の障害の総称です。熱射病や日射病と呼ばれるものは、重症の熱中症のことです。応急処置はどうかするか、基本は左記の3つです。①休息 ②冷却 ③水分補給です。『夏の風物詩』とは、「実用日本語表現辞典」によれば夏の季節に独特のもので、夏だという印象を強くさせるような自然現象や作物、行事、道具などを指す語。例としては、蟬時雨、スイカ、カキ氷、ヒマワリ、盃蘭盆、蚊取り線香など。今年には「花火」にこだわって暑い夏を楽しみたいと思います。皆様はどのような「夏の風物詩」で楽しめますか。

(Karane)

荻川駅前交番だより 水の事故に注意を!

子供達にとって、今月下旬には楽しい夏休みが始まります。荻川駅前交番管内には、信濃川、能代川、小阿賀野川といった大きな川をはじめ、排水路や用水路、池など様々な水に関わる環境があります。家族の目、地域の目で、子供達を水の事故から守りましょう。

平成28年6月13日現在	特殊詐欺被害発生状況
新潟県内	75件 2億5,399万円
秋葉署管内	2件 47万円
平成28年6月13日現在	死亡交通事故発生状況
新潟県内	32名(-1)
秋葉署管内	0名(±0)